

のこさい

議会だより

No.168

3月定例会

平成27年4月15日発行

「議会だより」は、あなたと議会を結ぶ情報誌です。

- 2 平成27年度一般会計予算を可決
- 7 委員会活動報告
- 8 市政を問う 常任委員会代表質問
- 10 そこが聞きたい!!一般質問
- 15 視察の成果を市政に生かします



総額389億5,750万円の平成27年度予算を可決

平成27年度一般会計予算など 37議案を可決



平成27年度各会計予算 (単位:千円)

会計区分		平成27年度 予算額	平成26年度 予算額	対前年度比 ※▲は減額
一般会計		20,480,000	21,980,000	▲6.8%
特別会計	国民健康保険事業	6,501,000	5,760,000	12.9%
	介護保険事業	3,744,808	3,608,491	3.8%
	後期高齢者医療事業	573,313	514,217	11.5%
	公共下水道事業	1,711,601	1,916,316	▲10.7%
企業会計	水道事業	1,630,397	1,641,772	▲0.7%
	病院事業	4,316,383	4,329,288	▲0.3%
合計		38,957,502	39,750,084	▲2.0%

平成27年度一般会計・特別会計・企業会計の予算審査を行い、そのうち一般会計及び国民健康保険事業会計については賛成多数により可決し、その他会計を全員賛成にて可決した。

なお、一般会計の予算審査については予算特別委員会を設置、付託し、2日間にわたり審査を行った。

- 【委員長】竹内祐子
- 【副委員長】加藤弘己
- 【委員】楠 浩幸 佐原佳美
- 渡辺 貢 吉田建二
- 荻野利明 豊田一仁
- 島田正次 馬場 衛
- 牧野考二 藤井靖夫
- 鈴木義則 中村博行
- 内藤正敏 神谷里枝
- 二橋益良

また、国民健康保

険・後期高齢者医療事業会計予算については総務経済委員会に、介護保険・病院事業会計予算については福祉教育委員会に、公共下水道・水道事業会計予算については建設環境委員会に付託し、審査を行った。



◆議会の概要

【2月19日】

3月定例会が招集され、開会后、会期を3月20日までの30日間と決め、市長から施政方針説明を受けた。また、市長提出35議案のうち、人事案件3議案を同意、専決処分1議案を承認し、その他の議案について説明を受けた。そのうち平成27年度一般会計予算を予算特別委員会に付託した。

【3月3日】

議案に対する質疑を行い、条例の一部改正や補正予算など18議案を可決した。また条例の制定5議案、平成27年度各会計予算6議案を各常任委員会に付託した。

【3月4日】

3常任委員会委員長の代表質問及び2人の議員が一般質問を行った。

【3月5日】

6人の議員が一般質問を行った。

【3月6日】

5人の議員が一般質問を行った。

【3月20日】

議会活性化特別委員長が調査結果の最終報告を行い、委員会活動を終了した。その後、付託していた12議案の各委員長報告を行い、その他1議案を含め原案のとおり可決した。その後、市長から追加提出された補正予算2議案を可決し、3月定例会を終了した。

予算特別委員会の審査

歳入

問 広域入所保育園入所者負担金を前年度から大幅に増額した理由は。

答 4月からスタートする子ども・子育て支援新制度に向けて、国では認可保育園や認定こども園への移行を目指す認可外保育施設の支援施策を実施していることから、市外の認可外保育園が認定保育園へ移行が進むものと考えられる。そのため、これまで以上に市外の認定保育園を利用する園児の増加が見込まれることから増額したものである。

問 新居支所での県証紙売却手数料及び収入が新たに計上されているが、新居支所で県証紙を取り扱うこととなった理由は。

答 新居支所では平成25年4月から旅券の交付申請受付を開始していたが、旅券の交付を受ける時に必要な県証紙は新居支所では購入できず申請者には不便な状況であった。この点を解消し、また、県立高校入試の受検料などのほか、県証紙によって納付する場合の利便性の向上も図られるため取り扱いは始めるものである。

歳出

問 豊田佐吉翁生誕150年記念事業予算985万5千円の用途の説明を。

答 のぼり旗、懸垂幕、啓発品などの消耗品として169万4千円、佐吉語録カレンダー作成などの印刷製本費として282万円、展示用パネル

作成・木製人力織機復元などの手数料として374万9千円、佐吉物語英訳本作成の委託料として129万6千円などが主なものである。

問 新設するコーちゃんバスの鷲津循環線の運行計画の概要は。

答 起終点を市役所または鷲津駅とし、1日10便以上になるように考えている。ジャンボタクシー程度の車両を使用し、なるべく各地区から運行している路線の鷲津地区内の経路と違う経路を運行する予定である。

問 子育て支援活動事業補助はこれまでの母親クラブ活動費補助をどのように見直したのか。

答 これまでは母親クラブの運営に対し定額の補助を行っていたが、広く市内で子育て支援活動を行う団体に対し補助

◆ 議案一覧 ◆

議案番号	内容
1	湖西市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
2	湖西市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
3	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
4	市長の給料の特例に関する条例制定に係る専決処分承認を求めることについて
5	湖西市保育の実施に関する条例を廃止する条例制定について
6	湖西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例制定について
7	湖西市立幼稚園保育料等徴収条例制定について
8	湖西市立保育所条例の一部を改正する条例制定について
9	湖西市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する条例制定について
10	湖西市地域包括支援センターの人員及び運営の基準に関する条例制定について
11	工場立地法第4条の2第2項に規定する準則を定める条例制定について
12	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例制定について
13	湖西市行政手続条例の一部を改正する条例制定について
14	湖西市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
15	湖西市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
16	湖西市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について
17	湖西市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について
18	湖西市霊きょう自動車使用条例の一部を改正する条例制定について
19	湖西市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

をするよう見直した。子育て中の親またはその子の交流の場の提供、子どもの居場所の提供、子育てに関する相談及び情報の提供などの事業を行う市民で構成され自主的に運営されている団体に交付するものである。経費の2分の1を上限とし、1年目は10万円以内、2、3年目は5万円以内とし1団体あたり3年間を限度として補助を行うものである。

問 新規事業の生活困窮者自立支援事業の内容説明を。

答 大きくは二つの事業があり、一つは自立相談支援事業で、生活保護に至る前の人に必要な情報提供や助言を行い自立を促すというものである。これまででも生活困窮者からの相談を受けアドバイスをしてきたが、その後のフォローがでななかった。これからは継続的な支援、生活再建の計画などもできるようになる。もう一つは住居確保給付金支給事

業で、離職により住居を失った人へ家賃相当の住居確保給付金を支給する事業である。

問 笠子廃棄物処分場の借地買取費用約3千万円と、購入後の借地面積の見込みの説明を。

答 約8,500平方メートルの借地の買い取りを行う予定であり、買い取り後の同処分場の借地面積は約6万7千平方メートルとなる見込みである。

問 新規事業の「ものづくり人材交流事業」とはどのような事業か。

答 シニア世代に「いきがい」を持つていただき、地域企業に技術の伝承を図り、市民がいつまでも元気で活躍できるまをを目指す目的の事業である。事業は、企業訪問などにより求人情報の収集を行い、また、相談窓口を開設してシニア世

代の求職者の希望を伺い、それら情報を基に就労案内を行う。案内先は企業だけでなく、シルバー人材センターやハローワークなどを含めた最適な所を案内する予定である。シニアの求職者には、再就労に必要な新しい環境に適応するための講座の実施を予定している。あわせて企業の要望把握や最適な支援の提供を行う。初年度は企業情報を把握し、求人・求職情報の効率的な管理体制をつくり、事業全体のPRを主体に取り組んでいく予定である。

問 津波避難デッキがわんぱくランド内に設置されたが、夏の開園時期に来客者がデッキへ登らないようにするなどの管理体制について伺う。

答 わんぱくランドなどの観光施設は来客者に楽しんでいただくのが目的であることから、デッキ完成によってわんぱくランドに悪影響が出ないような体制を関係各課で行って

37	平成26年度湖西市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	20	湖西市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例制定について
36	平成26年度湖西市一般会計補正予算(第6号)	21	湖西市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する条例の一部を改正する条例制定について
35	平成27年度湖西市病院事業会計予算	22	市道の路線の認定について
34	平成27年度湖西市水道事業会計予算	23	市道の路線の廃止について
33	平成27年度湖西市公共下水道事業特別会計予算	24	平成26年度湖西市一般会計補正予算(第5号)
32	平成27年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計予算	25	平成26年度湖西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
31	平成27年度湖西市介護保険事業特別会計予算	26	平成26年度湖西市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
30	平成27年度湖西市国民健康保険事業特別会計予算	27	平成26年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
29	平成27年度湖西市一般会計予算	28	平成26年度湖西市病院事業会計補正予算(第2号)
28		29	
27		30	
26		31	
25		32	
24		33	
23		34	
22		35	
21		36	
20		37	

審議結果については、全議案を原案可決(人事案件の「同意」、専決処分の「承認」を含む)した。賛否が分かれた議案についてはP6を参照。

く。なお、開園時期の監視員増員は予定していない。



▲わんぱくランド内にある津波避難デッキ

問

津波避難困難地域への命山や津波避難デッキなどの津波避難施設整備の推進により、その地域に住む高齢者や障害を持つ方でも津波からの避難ができるようになるか。

答

津波避難計画にて津波の到達までの時間を20分と想定しており、無理なく逃げられる速さで避難できる場所に施設があるように整備を推進していく。

問

学校の利用のみでなく、被災時における避難住民の生活の場として活用されることになる新居小学校体育館の吊天井落下防止対策について、工事期間と期間中の市民への対応は。

答

工事期間は、6月から9月末の予定で、期間中は体育館が使用できない。新居小学校のみでなく、市民にスポーツ活動の場として学校開放をしていることから、調整を図り、小学校や市民に支障のないように対応していく。

問

湖西中学校に土器などを展示する郷土学習室を設置することとあるが、どのように活用するのか。また市民へ公開するのか。

答

湖西中学校の教材資料置き場を有効利用し、原始・古代から近代に至る変遷を考古資料や民俗資料を用いて説明・写真パネルを活用した展示を年度内に行い、平成28年度か

らの使用に向けて整備を行う。整備後は、小中学生の見学や学校への展示品の貸し出しを行っていく。市民への公開は、学校の管理上の問題や資料の保管状況のため、職員立ち会いの下で期間や希望者を限定した公開を想定している。具体的には学校との調整の中で公開方法を検討していく。

工場の緑地面積率を緩和する条例を制定

「工場立地法第4条の2第2項に規定する準則を定める条例」を全員賛成により可決した。

この条例は、工場用地の効率的な活用や企業の立地促進を図るため、緑地面積率などの緩和措置を定めるものであった。これは、工場立地法の一部改正により、国が定める緑地面積率の範囲内で地域の实情に即した工場立地が適正に行われるための準則を市の条例で定めることができるようになったことによるものである。

◆委員会での質疑◆

問

緑地面積率等の緩和により、騒音や臭気による環境面での影響が大きくなることが懸念されるが、問題はないか。

答

国の緑地面積等の基準は昭和48年に決められたものであり、現在は当時よりも公害防止技術が進歩している。現在の機器は振動や臭気の発生が少なく、工場自体の密閉性も高くなっていることから、増改築がなされたとしても周辺環境への影響は少ないものと考えている。なお、企業から工場立地法に基づく届出が提出される際は、環境への配慮を行うよう指導を行っていく。

霊きゅう自動車の使用料を改定

「湖西市霊きゅう自動車使用条例」の一部改正を全員賛成により可決した。

この改正は、霊きゅう自動車の使用料を運行経費に見合った金額とするため、現行の1,830円から5,400円に改正する内容であった。平成27年4月1日から施行される。

◆本会議での質疑◆

問 金額の算出根拠は。また、今後市直営としていくのか。

答 平成24年度及び25年度の運行経費を2年間の運行回数で割ったものを基準として算出した。

霊きゅう事業は民間事業所でもサービスが提供されていることや、運転手の永続的な確保が困難なことも予想されることから、市が所有する2台の霊きゅう車の買い替えが必要となった時点で事業廃止も含めた検討をする。

一般会計補正予算を可決

平成26年度一般会計補正予算(第

5号・第6号)を全員賛成により可決した。

補正(第5号)では、予算額を7,378万5千円増額し、最終日に追加提出された補正(第6号)では、緊急経済対策及び人口減少対策として行われた国の大型補正予算を受け、予算額を6,463万5千円増額し、総額は229億8,515万8千円となった。

【補正(第5号)の主な内容】

〈歳入〉

●法人市民税

法人市民税現年課税分を増額

4億123万円

●財政調整基金繰入金

財政調整基金繰入金への繰戻分を減額 ▲1億円

〈歳出〉

●公共施設整備基金積立金

公共施設整備推進のための積立金を増額 1億1,189万円

【補正(第6号)の主な内容】

〈歳出〉

●公共交通推進費

平成27年10月からコーちゃんバス鷺津循環線を運行する負担金

を増額

365万円

●商工業振興対策費

湖西市プレミアム商品券を発行するための補助金を計上

4,200万円

人事案件

◆教育長

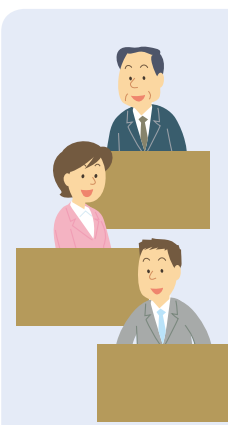
新教育委員会制度への移行のため3月31日をもって退職する山下宗茂氏(吉美)を、引き続き新制度の教育長に任命することに同意した。

◆教育委員会委員

任期満了となる大林裕子氏の後任として、佐原陽子氏(白須賀)を選任することに同意した。

◆人権擁護委員

任期満了となる清水 勝氏(新居町新居)を引き続き選任することに同意した。



賛否が分かれた議案一覧表



議案番号・議案名	結果	楠浩幸	佐原佳美	渡辺貢	吉田建二	加藤弘己	竹内祐子	荻野利明	豊田一仁	菅本利隆	島田正次	馬場衛	牧野考二	藤井靖夫	鈴木義則	中村博行	内藤正敏	神谷里枝	二橋益良
議案第29号 平成27年度 湖西市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号 平成27年度 湖西市国民健康保険事業 特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(菅本利隆)は決決に加わらない。

委員会活動報告

議会活性化特別委員会

議会活性化特別委員会は、平成25年6月24日に設置されて以来、「市民が主役で、活発な議論をする、見える議会」を指針とした望ましい議会のあり方について調査研究を行ってきました。そして、今3月定例会で調査報告を行い、活動を終了しましたので、報告の一部を次のとおり掲載いたします。

中間提言について

平成26年6月定例会において、それまで検討してきた8項目について議会へ実施するよう提言を行いました(提言の内容は議会だより平成26年6月定例会号に掲載)。

提言後に実施した主な事項

- ・平成26年12月定例会において議会基本条例を制定
- ・湖西市議会の委員会費の交付に関する規則を廃止
- ・意見書の処理方法を変更し、請願・陳情制度と書式例について市議会ウェブサイトに掲載

検討協議により実施した事項

- ・議員政治倫理条例及び政務活動費の交付に関する条例を制定
- ・議員研修要綱を制定し、あわせて研修実施計画書を作成

まとめ

湖西市議会は、今後も、情報公開・情報発信・市民参加・組織改革・運営改革・議員改革及び目的意識を持ち、議会基本条例の趣旨を生かしながら時代に適合した議会を目指すことが必要である。

「誰のための議会か」「議員として何をすべきか」平成27年4月1日から施行する議会基本条例を機に、議員が継続的に議会の改革と活性化を協議検討していくことをここに宣言する。

総務経済委員会

総務経済委員会は、市民協働・危機管理・行財政改革・地域産業の活性化などについて調査研究してきました。そして市政の発展に最も寄与できる内容について検討し、3月17日に次の内容の政策提言を市長へ行いました。

自治体シンクタンク「(仮称)湖西未来研究所」の設置を提言

政策課題を中長期的・広域的な担当部署の分掌事務にとらわれない横断的視野で専門的研究を行い、かつ、市民・社会ニーズの充足や課題の解決に向けた政策提言を行うと共に市の政策形成に寄与する「自治体シンクタンク『(仮称)湖西未来研究所』」の設置を提言する。



▲議長から市長へ提言書を提出

市政を問う

常任委員会 代表質問

委員会って なんだろう？

市議会が扱う議案は、数も多く、内容も幅広い分野にわたります。それらを専門的かつ効率的に調査や審査するため、本議会とは別に委員会を設置し、実質的な調査などを各委員会でを行っています。

3常任委員会委員長が代表質問を行い、各委員会が所管する専門分野について質問しました。

常に設置されている「常任委員会」

福祉教育委員会

福祉、健康、介護、教育、保育、湖西病院などに関する業務の調査や審査を行います。

建設環境委員会

都市計画、道路・河川・公園整備、環境美化、上下水道、消防などに関する業務の調査や審査を行います。

総務経済委員会

税金、防災、危機管理、財政、国民健康保険、商工業、農林水産業、観光、広報、戸籍、企画、統計などに関する業務の調査や審査を行います。

また、「常任委員会」以外に、議会の公正かつ円滑な運営を図るための調整や協議を行う「議会運営委員会」と議会だよりを編集する「議会だより編集委員会」、必要に応じて設置する「特別委員会」があります。

福祉教育委員会

委員長 内藤 正敏



子どもたちの学力向上のための施策は

▶▶▶ 反復学習の実施のみでなく、発表への勇気や自信及び論理的思考力を養う指導を行っている

● 児童生徒の学力向上について

問

子どもたちの学力を全国的に把握するため文部科学省が実施した「平成26年度全国学力学習状況調査」の湖西市の結果は県内で下位に位置していた。今後、子どもたちの学力向上のため、どのような施策を行っていくのか。

答

調査により教育活動の様々な課題が明らかになったことから早急に改善し、日々の教育活動に生かしている。特に力を入れている点は、毎日の学習の積み重ねが大事であることから、学校での反復学習のみでなく各家庭で反復学習を行うことを依頼している点と、発表することによる勇気や自信を培う指導と同時に論理的思考力を培う指導を行うよう学校に指示している点である。

● 教育改革について

問

道徳教育が平成30年ごろに正式な教科になる予定であるが、教師の道徳教育への資質向上研修の取り組みは。

答

道徳主任を中心に各校で研修を進めており、授業を公開して参観視点を盛り込んだチェック表を用い、子どもたちにとって道徳的価値にせまる授業であったかの研究協議を行うなど、各校で工夫し、研修を深めている。また、道徳指導リーダーが学校の要請に合わせて他校の教員の指導に当たり、県や東海・北陸ブロックなどの研修に参加して教員に伝達することも行っている。



その他の質問 ● 母と子を大切にす湖西を目指して

建設環境委員会

委員長 馬場 衛



はしご車の整備を早急に進めるべきでは

▶▶▶平成28年度以降の導入に向けて検討中

● 消防の将来像について

問 近年、住宅の建築方式が大きく変化しており、火災現場での消火活動にも影響を及ぼし、消火の難しさを感じる。消防資器材や車両の整備充実が市民生活に安心を与えることから、はしご車の整備を早急に進めるべきと考えるが、いかがか。

答 現在、はしご車は安全基準に規定された使用期限を超えているため、運用を停止している。市内には15メートル以上の建築物が59棟あるため、はしご車は必要であると考え、平成28年度以降の導入に向けて検討している。



● 都市整備部における事業の推進について

問 地震対策においては、まず自分自身の身を守ることが大事であり、住宅の耐震化や家具の固定は避難するための最低条件である。耐震補助事業「TOUKAI-O」の推進計画はどうか。

答 事業の最終年度である平成27年度末の住宅耐震化率90%を目指し、事業を推進している。これまで推進のためのダイレクトメールの発送や戸別訪問などを行ってきた。現在、県では平成28年度から始まる新たな耐震支援事業に向けた方針を市町参画のもとで策定すべく計画している。湖西市も県と同じく新たな方針を柱とし、耐震補強事業に取り組んでいきたい。

その他の質問

● 環境部における事業の推進について

総務経済委員会

委員長 藤井 靖夫



地方版総合戦略の策定への取り組みは

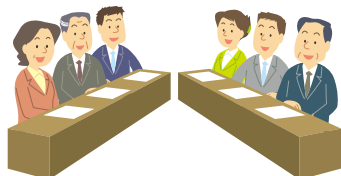
▶▶▶「湖西市総合戦略有識者会議」を組織してアドバイスをいただきながら策定していく

● 人口減少問題に対する取り組みについて

問 平成28年3月までに人口減少克服と地方創生を目的とした地方版総合戦略の策定が求められているが、どのように取り組むのか。

答 「湖西市総合戦略」策定のためのプロジェクトチームを立ち上げ、調整会議などで素案をまとめ、部長会で意見を伺い策定していく。

また、国が示した策定プログラムには、大学教授・金融機関・労働団体などの連携による意見反映の重要性が示されていることから、「湖西市総合戦略有識者会議」を組織し、包括連携協定を結んでいる静岡大学の教授などから専門的なアドバイスをいただくことを検討している。



● 地域産業活性化と人材育成について

問 地域産業活性化は新たな財源創出のみでなく、少子高齢化・人口減少問題解消のための解決策として国が位置付けている。高齢者雇用や再訓練などの高齢化社会に対応した地域産業活性化の仕組みを構築していくべきであるが、いかがか。

答 高齢化社会に対応した仕組みの構築は急務であり、平成27年度に「ものづくり人材交流事業」を計画している。この事業は、高齢者の経験や技術を再び社会で活用しようとするもので、中小企業の新たな可能性や高齢者の活躍の場の拡大、いきがい・健康づくりにつなげようとするものである。

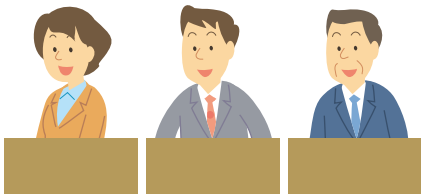
その他の質問

● 防災対策について

そこが聞きたい!!

一般質問

お答えします



一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今3月定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。

湖西市公式サイト

市ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

<http://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

湖西市HP

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから(USTREAMへ)

一時預かり事業の供給量の確保不足が見込まれるが、対策は

▶▶▶ 平成27年度から一時預かりに関する情報を一元管理し、情報提供や連絡調整を支援



●子ども・子育て支援事業計画について

問

家庭での保育が一時的に困難になった乳幼児を一時的に保育する「一時預かり事業」について、在園児対象型を除き、供給量の確保不足が見込まれるが、課題と対策は。

答

保育園などで実施する同事業は、一部の民間保育園を除き、一時預かり用として固定の利用枠を設けず、利用乳幼児と同年齢の園児が使用する保育室にて、各園の定員

などの空きに応じて保育を行っている。そのため、時期や年齢によっては空きがなく、受け入れできないことが課題である。利用時期や年齢が不確定な一時預かり用の利用枠を設けることは、各園の定員の中から保育を必要とする乳幼児の定員を減らすことになるため行っていない。

対策として、全保育園などでの平成27年度からの事業実施を機に、一時預かりに関する情報を一元管理し、希望者の相談や要望に応じた情報提供や連絡調整を支援していく。



楠 浩幸

津波対策のため、潮見バイパス4車線化時の盛り土方式への取り組み方針は

▶▶▶ 県の協力を得ながら所管の国土交通省に具体的な検討を働きかけていく

●津波対策について

問

第4次地震被害想定レベル2(=発生頻度は極めて低いが発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波レベル)の場合、沿岸部では最大津波高15メートルと想定されている。しかし、防潮堤や浜名バイパスの高さは8メートルである。津波対策のため、潮見バイパス4車線化に合わせ、新たな車線の築造を盛り土方式にという地

元要望に対し、どのような取り組み方針であるのか伺う。

答

要望を受け、県と立ち上げた静岡モデル推進検討会にて検討を始めたところである。今後、現況と同じ高架方式で建設した場合のメリットとデメリットがあるかなど、県の協力を得ながら所管の国土交通省に具体的な検討を働きかけていく。



▲潮見バイパスと防潮堤



渡辺 貢

その他の質問

●住宅団地内の私道問題について

ひばりヶ丘市営住宅跡地の利用計画の検討状況は

▶▶▶ 津波避難施設空白域への施設整備を最優先で行い、その後に検討していきたい

● ひばりヶ丘市営住宅跡地の利用計画について

問 新居南自治会から、ひばりヶ丘市営住宅跡地へ「集いの広場」を兼ね備えた地震・津波避難施設などの建設の要望がされたが、その後の検討の進捗状況は。

答 新居南自治会の区域内は、津波避難ビルの存在や津波避難デッキの完成により津波避難施設空白域とはなっていないことから、市内の津波避難施設空白域への施設整備を最優先で行い、その後に最善の跡地利用につ

て検討していきたい。

● 人事異動、昇格・降格について

問 女性管理職の登用について市長はどう考え、今後どのような基準で行おうと考えているか。

答 昨年、男女共同参画社会づくり事業所宣言をしたとおり、人事評価などを基にして男女差のない登用を考えている。また、女性職員のためのキャリアデザイン研修なども計画している。

その他の質問 ● 職員の選考採用の過程について



▲ひばりヶ丘市営住宅跡地



島田 正次

幼稚園、小中学校の統廃合を行う考えはあるか

▶▶▶ 湖西市の教育の基本的な考えを踏まえ、適正規模、配置を検討していく

● 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う市長の見解について

問 市内の幼稚園や小中学校には規模の格差があるが、統廃合を行う考えがあるか伺う。

答 湖西市の教育の基本的な考えは「地域の子は地域で育てる」としており、地域に根ざした教育活動を展開している。この考え方を踏まえ、今後、学校教育施設適正化検討委員会や湖西市立小・中学校通学区域審議会を開催し、諸問題を調査し、適正な規模及び配置などを検討していきたい。

● 交通弱者対策としてのタクシー利用料金補助事業

問 交通弱者といわれる、高齢者、妊産婦、障害者のためにタクシー利用料金補助事業を行ってはどうか。

答 交通弱者対策として13年前にふれあいバスの運行を開始し、現在はコーちゃんバスを運行しているが、費用対効果は満足できるものではないので抜本的な見直しが必要と考えている。個人への補助は公平性の基準をどうするか問題があるので、これら課題を平成27年度に重要課題として検討していく。



神谷 里枝

新所原駅及び周辺整備工事の進捗状況は

▶▶▶ 一部遅れはあるが、ほぼ計画どおり進んでいる

● 新所原駅周辺整備工事の進捗状況について

問 新所原駅は平成27年2月には仮駅舎の営業が始まり、平成30年度には橋上駅舎化事業が完成予定とされているが、周辺整備工事も含め事業は計画どおりに進んでいるか。

答 JR東海に委託している自由通路新設及び橋上駅舎化工事は、ほぼ計画通りに進んでいる。また、駅前広場などの周辺整備工事は、ふれあい会館の移転に遅れが生じているが、平成27年度に実施を予定している工事などへの影響はない。

● 児童・生徒の安全と危機管理について

問 児童・生徒に対しての危機意識教育はどのようになっているか伺う。

答 学校では様々な場面を想定して命を守る学習をしている。代表的なものは防災教育であるが、その他にも交通安全教室や防犯教育、生活安全教育など、危機を予測し回避する学習を行い安全に対する意識を高めている。また、トラブルが多いネット社会の現状やルールなどについても学ぶ機会を設けている。

その他の質問 ● 市長のプレス発表と市長施政方針について



▲新所原駅



加藤 弘己

「子どもゆめ基金」の活用と基金参加の施策は

▶▶▶ 該当する活動を行っている団体へ情報提供をしていく

● 子どもゆめ基金の活用について

問 「子どもゆめ基金」は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を推進するために様々な体験活動を行っている団体へ支援を行うための基金であるが、その活用と基金参加の施策について伺う。

答 同基金は子どもを対象にした体験活動や体験活動の指導者養成を実施している団体にとって大変よい助成事業である。その対象は、湖西市との共催事業や委託事業ではないこととされており、団体独自の活動となっていることから、活動を行って

いる団体へ情報を提供し、基金を活用していきたいと考えている。

● 市長施政方針について

問 自治基本条例の必要性についてどのように考えているか。

答 平成23年度に自治基本条例と同様の目的を持って「湖西市民まちづくり条例(案)」を作成したが議会への提出までには至らなかったため、代わって「市民協働指針」を作成した。市民協働を推進していくうえでの基本的な考え方を示しているため、条例制定が必須とまでは考えていない。



二橋 益良

保育園の入所待ち解消への考えは

▶▶▶ 既存施設の認定こども園化や一時預かり事業の充実などを検討したい

● 湖西市子ども・子育て支援事業計画(案)について

問 保育園に預けたくても受け入れてもらえないという不満の声を聞くが、どのように入所待ちを解消していく考えか伺う。

答 近年、保育園への入所希望者が増加しているが保護者の希望どおりに受け入れることができず、大変苦慮している。現状において新たな施設整備は難しいことから、既存施設の認定こども園化や幼稚園の一時預かり事業の充実などについて検討していきたい。



▲ 鷺津保育園にて



竹内 祐子

● 市長施政方針(ふるさと納税制度)について

問 平成27年度からふるさと納税にはお礼の品を用意し今まで以上に力を入れていくという説明があった。お礼の品を決める方法や送る方法など、ふるさと納税推進の仕組みをどう考えているか。

答 これまでも関係部署で検討してきたが、準備、仕組みづくりには時間を要し、専門知識も必要であることからふるさと納税支援会社に委託する予定である。また、現在、お礼の品の決定に向け協力会社を公募するなど準備している。PRについてはパンフレット作成のほか、ふるさと納税サイトや市ウェブサイトに掲載する予定である。

栽培漁業の実施状況と課題は

▶▶▶ 漁獲高に直結していないが今後も支援が必要と考える

● 栽培漁業の拡大による浜名湖の漁業振興を

問 漁獲量回復と漁業経営の安定向上のためにさらなる栽培漁業の推進を望むことから、これまでの実施状況とこれからの課題を伺う。

答 栽培漁業への補助は、平成18年度からノコギリガザミ、平成23年度からはクルマエビ、アサリについて実施してきたが、放流の成果が漁獲高に直結していないのが実態だと思う。漁業経営安定のためには資源量回復が不可欠なので、今後も栽培漁業への継続的支援が必要と考える。

● 竹林の再生と新産業の創出について

問 市内の竹林は活用されていない現状であるが、浜松地域イノベーション推進機構では竹を利用して飼料化、肥料化するなどの有効活用の取り組みが行われている。竹に対する利活用の考え方は。

答 湖西市でもこれまで竹チップを利用した蓄ふんの臭気低減の実験などに取り組んできた。竹の利活用には竹チップを安定供給できる循環システムが必要であり、そのためには地域や土地所有者の理解や協力が必要となる。採算性の確保も含め難しい問題があるが、先進事例も参考に検討していきたい。



牧野 考二

その他の質問 ● 施政方針について

頑張る地域への補助金制度や表彰制度を新設してはどうか

▶▶▶ 現在の補助金制度に加え、今後の検討課題としたい

● 頑張る地域応援プログラム

問 地域への補助金制度の段階的見直しも視野に入れ、補助金制度の新設や、頑張る地域などを表彰する制度を採用してはどうか。

答 趣旨に合うものとして、現在湖西市には「文化の香るまちづくり事業補助金」がある。市民活動支援センターでは民間の支援団体などの補助金制度の紹介もしている。補助金制度の新設や表彰制度については検討課題としたい。

● ウォーキングコース設定と健康の道

問 湖西市スポーツ推進計画に「ウォーキングや散歩のできるモデルコースづくりを行う」とあるが、実施計画と進め方を伺う。

答 計画の策定に携わったスポーツ推進審議会で意見を聞き、スポーツ推進委員とともに事業を計画し、実施していく。平成27年度はまず新居地区のコースづくりについて検討する予定である。

その他の質問

● 不登校、働きたくても働けない若者について



鈴木 義則

住宅リフォーム助成制度をつくる考えは

▶▶▶ 補助のあり方や方式を検討していきたい

● 小規模企業振興基本法を生かした、具体的対策について

問 小企業・自営業者が自立できる環境づくりの柱は、地域での仕事おこしによる地域経済の振興策である。地域循環をつくる経済振興として注目されている住宅リフォーム助成制度をつくる考えはないか。

答 新居町商工会では市内加盟建設業者を利用しリフォームをした方に商工会加盟店で使える振興券を発行しており、市内店舗に直接経済効果が波及している。補助のあり方や方式については今後検討

ていきたい。

● 子どもの貧困対策について

問 子どもの貧困率は16.3%を超え、特にひとり親世帯では深刻な状況である。子どもの貧困に対する、湖西市独自の具体的な対策はあるか。

答 湖西市独自の制度として、子育て世帯への支援は子育て支援手当と就園助成金がある。ひとり親世帯への支援は、村田光雄奨学金制度がある。

その他の質問

● 三ツ谷地区新幹線ガード下の交通安全対策について



荻野 利明

公会堂や集会所の新築時以外の耐震化工事への助成はしているか

▶▶▶ 工事費の3分の1を修繕費として補助している

● 各地区公会堂の耐震性について

問 市内の自治会・町内会が所有する公会堂や集会所の約半数が、昭和56年以前に建てられた旧建築基準のものであった。防災対策や地域包括ケアシステム構築の活動拠点の整備として、新築時の補助以外に耐震化工事への助成はしているか。

答 新築時以外の耐震化工事に対しても、湖西市公会堂等建設費補助金交付制度に基づき、工事費の3分の1を修繕費として補助している。

● 市営墓地増設と納骨堂の設置について

問 墓地を求める市民の声を多く聞いている。市営墓地の増設や納骨堂の建設を検討すべきと思うがいかがか。

答 埋葬形式や管理のあり方など、墓地に対するニーズは変化しており、今後墓地計画の検討をする中では納骨堂や永代供養墓など時代に沿った検討も必要と考える。今後は先進事例や市民意見などの調査研究を進めていく。

その他の質問

● 市長施政方針説明について



▲耐震化のため平成20年度に新築された南上の原集会所



佐原 佳美

ものづくり会館構想策定事業について認識はどうか

▶▶▶ 湖西市の将来を背負う人材の育成であり、財産と考える

● 豊田佐吉翁生誕150年記念事業について

問 ものづくり会館構想策定事業は湖西市の将来に向かって非常に大きな意義を持つと考えるが認識はいかがか。

答 構想を策定している企画委員会では、大きな柱の一つとして青少年育成について検討している。青少年の育成は湖西市の将来を背負って立つ人材の育成であり、工業振興のみならず、湖西市の財産になると考える。佐吉翁の精神を継承する中で、「気づき」「不屈の精神」「親孝行」などが定着し、新

たな逸材や革新的な産業が生まれることを期待している。

● 市長施政方針説明について

問 新・湖西市総合計画について、指標の検証と最終目標の修正が挙げられているが、最終目標実現のための新たな手法の導入や方向性の修正を第一に行うべきではないか。

答 今回の見直しは、5年間における社会情勢の変化を反映させるものであり、施策及び数値目標の両方を見直すものである。



▲ 豊田佐吉翁生誕150年記念事業ロゴマーク



豊田 一仁

現在の湖西病院の課題は何か

▶▶▶ 医師確保と経営改善に関することである



▲ 湖西病院



吉田 建二

● 病院経営について

問 市長が病院設置者として考える、現在の湖西病院の課題は何か。

答 1点目は医師確保についてであり、医師の数は増加していない。2点目は現状の体制で経営を行うに当たり、経営が改善され赤字が減少しているという状況ではないことである。

● 豊橋湖西線の整備について

問 豊橋湖西線の整備について、事業が未着手となっている古見高橋から川尻交差点までの新設区間が

計画決定されたのはいつか。また、現在までの取り組みの経過は。

答 昭和39年に都市計画道路「南部幹線」として都市計画決定され、平成初期には土地区画整理事業による面的整備での道路整備を検討したが、実現には至っていない。平成25年度の見直し作業により、都市計画道路整備プログラムでは整備順位の高い路線に位置づけている。整備方針については地元と調整し協力体制を整えたいと、粘り強く県へ要望していく。

その他の質問 ● 行財政改革の推進について

一般質問通告書をウェブサイトに掲載しています！

見える議会を目指すため、議員が一般質問を行う際に提出している一般質問通告書をウェブサイトに掲載しています。通告書には「質問しようとする経緯や背景」「質問の目的」「質問事項」が記載されています。ぜひご覧ください。

(本会議を傍聴される方へは、質問日当日に一般質問通告書の写しを配布しています。)



▲ 一般質問通告書

視察の成果を 市政に生かします

より良い湖西市を目指して、先進的な取り組みを行っている他自治体へ視察を行いましたので、報告いたします。



建設環境委員会

1月14日～15日

まちづくりを行政と住民とが協働し、それぞれの役割を果たすことの大切さを実感した

●視察先：兵庫県川西市 ●目的：救急安心カードについて、女性消防団について

救急安心カードは、救急隊などがスムーズな搬送や処置ができるよう持病やかかりつけ医、薬の情報などを記入し所持するものであり、低コストで導入ができ効果が高いものであることから湖西市でも導入検討の必要性を感じた。女性消防団は、約20年の歴史があり「チェリーファイアー」という親しみやすい愛称がつけられ、主に防火指導や救急講習などのソフト面での活動を行っており、活動内容や団員募集方法などが参考となった。



▲兵庫県川西市にて

●視察先：京都府八幡市 ●目的：男山地域再生基本計画について

男山地域再生基本計画は、約40年前に、主に旧日本住宅公団により大規模に開発された地域が、住民の少子・高齢化により持続可能な地域として再生が求められたことから策定された。計画は住民の参画と関西大学の支援を受け策定され、計画期間を定めず弾力的に見直しを行いながら、施策のネットワーク化と連鎖化により一つの活動が次の活動を生む形で展開し、住民自らの取り組みを市がサポートするものであった。まちづくりにおいて行政と地域住民や市民団体が協働しそれぞれの役割を果たすことの大切さを実感した。

傍聴者の声

「市の取り組みを知るために」

足田 将平さん(新居町浜名)

今回は5回目となる傍聴に伺いました。毎回、行くたびに傍聴席はほぼ満席で驚かされます。今回は空き土地の有効利用について質問されていました。津波対策に使うなど、災害対策の議論もされていました。これらのことは緊急課題であり、今後の対策について期待していきたいと感じました。

大学進学のため4年間湖西市を離れていましたが、4月から社会人として湖西市に戻ります。これからも湖西市民として、より良いまちになるように注目していきたいと思えます。

「議決に感動！」

小幡 とし子さん(鷺津)

何回も一般質問の傍聴に参加し、今回初めて一般質問通告書の写しをもらいました。今まではなかったので資料を見ながら傍聴ができ、より一層理解することができました。また、マイクが新しくなり傍聴席にいてもとてもよく聞き取れるようになったことは大変うれしいことです。

私たちの団体が陳情した医療費助成適用についての議案が議決されたときには感動を覚え、議会を身近に感じました。また、市民生活に密着した議案が毎回活発に議論されています。市民として議会を傍聴することも義務であり、もっと大勢の方々に参加してもらえれば議会がより理解できることと思います。

市議会からのお知らせ

季節のひとつま

3月15日 / コーちゃんデカスポテニス大会
(アメニティプラザ)



● 6月定例会の予定 ●

- 6月 8日(月) 10:00～ 本会議第1日
- 16日(火) 10:00～ 本会議第2日(一般質問)
- 18日(木) 10:00～ 本会議第3日(一般質問)
- 19日(金) 10:00～ 本会議第4日(一般質問)
- 23日(火) 10:00～ 本会議第5日
- 24日(水) 10:00～ 総務経済委員会
- 25日(木) 10:00～ 福祉教育委員会
- 26日(金) 10:00～ 建設環境委員会
- 30日(火) 10:00～ 本会議第6日



予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

………議会傍聴に来ませんか?………

- どなたでも傍聴できます。
- 当日、市役所3階議会事務局へお越しください。
- 予定が変わることもあります。事前に議会事務局 (TEL.053-576-4791) へお気軽にお問い合わせください。

傍聴にこられない方も市議会の様子をご覧ください。

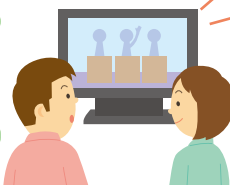
▶ 浜松ケーブルテレビ チャンネル・ウインディ

本会議の一般質問が、浜松ケーブルテレビ「チャンネル・ウインディ」で放映されます。

▶ 湖西市ウェブサイト インターネット放送

本会議のインターネット放送を市のウェブサイトからご覧になれます。

注目



…市民の皆様の声をお寄せください…

議会運営に役立てるため、議会に対する意見、傍聴や議会だよりの感想などについてのお便りをお寄せください。郵送・ファックス・Eメールで受付しています。なお、内容により、議会だよりに掲載する場合がありますのでご了承ください。

規定

- ▶ 住所、氏名、電話番号を明記してください。
- ▶ 議会だよりへの掲載を希望しない方は、その旨をご記入ください。
- ▶ 議会だより掲載時に趣旨を変えず直すことがあります。
- ▶ お便りの返却はいたしません。

あて先

湖西市議会 議会だより編集委員会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791/FAX.053-576-0331
E-mail▶ gikai@city.kosai.shizuoka.jp

編集後記



うらかな季節を迎え、皆様方には益々清栄のこととお慶び申し上げます。3月定例議会では、市長の施政方針をはじめ、平成27年度一般会計予算など37件の議案を審議し議決いたしました。

さて、今回の議会だよりは現在の編集委員会委員での最後の号となります。市民の皆様方に分かり易く、読んでいただきやすい議会だよりを目指し、その都度検討を加え改善してまいりましたが、いかがだったでしょうか。また、多くのご意見を下さった皆様には、あらためてお礼を申し上げます。今後も、議会だよりのご愛読をお願いするとともに、市政に関するご意見などをお寄せいただけますようお願い申し上げます。

(菅本利隆)

編集委員

(◎は委員長、○は副委員長)

- ◎菅本 利隆 ○藤井 靖夫
- 佐原 佳美 渡辺 貢
- 加藤 弘己 竹内 祐子
- 島田 正次 中村 博行

次回は

➔5月31日 発行予定です

湖西市議会HPも
ご覧ください

